



～介護の楽しさを学んでいます～

短大に入学して1年3ヶ月が過ぎました。入学間もない頃は、知識や技術を修得することに精一杯でしたが、介護の在り方や関わり方、認知症や障害について学ぶにつれて、もっと介護について深く知りたいと思うようになりました。



初めて実習に行く前は、どのように支援したら良いか、関われば良いか、とても不安な気持ちでした。しかし、実習が始まり職員や利用者の方々と関わるうちに、不安は消え、もっと利用者の方々を知りたいと思う気持ちが強くなりました。そして、同時に介護についてもっとたくさんのこと学ばなければ、利用者の方を理解できないし、良い支援ができないと痛感しました。

介護は大変だと思う方が多いと思います。実際、利用者の方の支援内容を考え、身体を使うことが多い仕事ですが、私は、利用者の方が笑顔になってくれたら、大変だという気持ちよりも、嬉しさの方が大きいです。利用者の方の笑顔を増やし、まわりを楽しくさせられるような介護福祉士をめざします。

短大 福祉学科 地域介護福祉専攻 2年 勝山 留美
千葉県立岬高等学校（現：大原高等学校 岬キャンパス）出身

～最後の実習に行ってきました～



4年生になり、最後となる今回の実習は、保育所か施設のどちらかを選択するものでした。私は、保育所での実習を選び、5月23日から6月3日までの2週間、保育所で実習を行いました。

これまで幼稚園4週間・保育所2週間・施設2週間の実習を行いました。

今回の実習では、子どもへの声掛けを深く学べたと思います。同じ製作を2日間に分けて行ったことで、改善点を見つけることができました。1日目と2日目で、声掛けや関わり方を変えて比較をし、自分の行動についても見直すことができました。とても貴重な経験になったと思います。

私は、これまでの実習経験から、子どもたちとさまざまな製作活動を行いたいと思い、幼稚園への就職を希望し、現在、就職活動中です。

植草学園大学では、附属のこども園や幼稚園の園児がキャンパスに来る機会や、学内の「子育て支援・教育研究センター」でのボランティア等で、子どもと関わる機会がたくさんあります。幼稚園教諭・保育士をめざす後輩や高校生のみなさんは、積極的に参加してください。また、手遊びはたくさん知っているといろいろな場面で役に立つので、動画や本を見てレパートリーを増やすと良いと思います。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 4年 藤井 英里香
千葉県立土気高等学校出身



◆ ◆ ◆ 演劇サークル「Raison D'etre」紹介 ◆ ◆ ◆



私たち演劇サークル「Raison D'etre」は、サークルパフォーマンスデー（昼休みを利用して、サークルが日頃の活動、練習を発表する日）で自作の劇「帰宅部うおーす」を公演しました。

この劇の内容は、中学・高校・大学の10年間を帰宅部に捧げると誓った中島、その友人の田辺、演劇部の今野。中島と田辺、田辺と今野のやりとりで展開されていくコメディーです。短い期間での練習でしたが、講演を見てくれた学生が、笑顔になってくれました。

現在、サークルには17名が所属しています。これから、11月の緑栄祭（学園祭）に向けて練習を開始します。メンバー全員で劇をつくりあげ、お客様も楽しめるような劇にしていきたいと思います。みなさんのご来場をお待ちしています！

演劇サークル Raison D'etre 副代表

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 2年 藤田 あみ
千葉県立袖ヶ浦高等学校出身

～御成街道沿いに新バスロータリーが完成～

7月1日（金）、植草学園小倉キャンパスのバスロータリーが御成街道沿いに完成し、近隣の方々も利用しやすくなりました。



バスロータリー新設にあたり、キャンパス入口と、M棟上部に看板を設置しました。キャンパスにお越しの際の目印です。



～予告～

次回、7月23日（土）のオープンキャンパスは、学友会主催の七夕祭り期間中です。

参加者のみなさんにも短冊を用意します。是非、願いごとを書いてください。

